

ふるさと古賀を愛し、未来をたくましく生きる児童生徒の育成

地域の
特色ある
活動

福岡県古賀市教育委員会

1 はじめに

本市は「教育立市こが」を推進するため基本理念として掲げている「こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり」に取り組んでいます。小学校8校、中学校3校、計11校において、これまで市独自に積み上げてきた、一人一人の児童生徒にきめ細かな対応をするための諸施策の充実を図り、地域や家庭と連携しながら、「ふるさと古賀を愛し、未来をたくましく生きる児童生徒の育成」を目指しています。

2 地域と共にある学校づくり

(1) 5日間の中学生職業体験学習「ドリームステージ」の実施

平成20年度から「古賀市中学生職業体験学習『ドリームステージ』」を実施しています。また、事前の研修として、小学校5年生と中学校2年生で専門講師招聘による接遇マナー研修を行っています。マナー研修は、「報連相」の重要性やコミュニケーションのコツ、第一印象を決める要素（姿勢、返事、言葉遣い）など社会人として大切な心構えを児童生徒が学ぶ機会となっています。

中学校2年生全生徒は、接遇マナー研修後、一斉に約150の市内事業所に分かれ、連続5日間の職業体験学習を行います。生徒一人一人がしっかりとした勤労観、職業観を形成し、社会的・職業的自立に向けて基盤とな

る資質・能力を育み、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図っています。

それぞれの事業所での体験で、生徒は仕事に携わる人々と接し、実際に仕事を体験することにより、働く人々の様々な思いを感じたり、働くことの意義や自己の適性について考えたり、自分が役に立つ存在であることを実感したりしています。

さらに、市内事業所やそこで働く人々のすばらしさや大切さを発見し、子供たちが地域への愛着をもつ機会にもなっ



職業体験の様子

ています。「学校から離れ仕事をする中で、自分の行動が人の役に立つという経験ができ、人生の糧となる貴重な体験でした」といった保護者からの感想も多数寄せられています。

(2) 学校図書館の地域開放

平成27年度から、学校図書館を市民向けに開放し、新聞の閲覧や図書の貸し出しを行っています。また、地域の乳幼児を対象にしたお話会を実施している学校もあります。

利用者からは「子供の視点で本が読める」「家の近くなのですぐ本を借りに行ける」「懐かしい本に出会える」などの声が寄せられています。また、古賀市立図書館から各学校に毎月40冊程度の本を配本し、市民が市立図書館の一般書を学校図書館で利用できるようにしています。



図書館開放の様子

3 強い小中連携～「共育」「協育」「響育」～

3 中学校区でそれぞれ「共育」「協育」「響育」を

古賀中学校区 = 共育
古賀北中学校区 = 協育
古賀東中学校区 = 響育

目指し、9年間の育ちと学びを保障する「古賀の強い小中連携教育」を推進しています。中学校区ごとに、それぞれの校区の特色にあった様々な「きょういく」を行い、強い小中連携を図っています。小中学校の教員が全員で授業研修を行い、互いの実践から学び合ったり、小中で「黙働清掃」「こしほねタイム」「あいさつ」などに取り組み、一貫性のある生徒指導を行っています。さらに、中学校へのなめらかな接続を目指し、中学校教員が小学校で出前授業を行ったり、小学校6年生が、中学校で一日生活体験を行うことで、子供たちは学びの連続性を感じながら新たな環境で成長し続けています。



黙働清掃



こしほねタイム



あいさつ

4 きめ細かな教育を実践する環境づくり

(1) 二学期制によるきめ細かな教育の実践

平成18年度から導入した二学期制は、学校の教育活動にゆとりを生み出し、教職員が児童生徒に寄り添う時間を確保しています。長期休業前の7月や12月に、学校行事や体験活動、児童生徒との個人面談、職員研修等を設定することができ、十分に児童生徒の相談等に応じながら充実した教育活動を生み出します。児童生徒、教職員のゆとりが生まれることで、通常の学習をこれまで以上に充実させたり、補充学習や発展学習などにおいてきめ細かな指導と評価を行うなど、様々な面で教育の効果をあげていく活動につなげるこ

とが可能となります。

(2) 市費による人的配置

人的支援として、少人数指導による学習支援や生活支援を行う少人数学級対応講師、児童生徒が悩み等を気軽に話せる心の教室相談員、配慮を要する児童生徒を支援する特別支援教育支援員などの人的配置を行っています。児童生徒一人一人に寄り添い、きめ細かな支援を行っています。

(3) 誰もが等しく学習機会を得るために

学習にかかる保護者費用負担軽減と物を大切にすることを養うための取組を実施しています。物的支援として数のおけいこセットの市費補充購入、制服や引き出しのリユース、高校入学支援金制度の充実や計算カードの全費用市費負担、校納金の見直しの徹底を行い、経済的理由で十分な学習ができないことがないように保護者の負担を極力減らし、誰もが等しく学習機会を得られるよう支援をしています。



市教委での制服リユース

5 おわりに

本年度はコロナ禍の中、多くの行事を削減することとなりました。先が見えない予測困難な時代を、子供たちには、ふるさと古賀において、人と人とのつながりの温かさを感じながら、夢に向かってたくましく生き抜いてほしいと願っています。今後も、学校、家庭、地域が一丸となって、子供たちのために様々な環境を整え、きめ細かく支援してまいります。



教育長
長谷川 清孝